明るいまちづくりをめざしましょう。標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のな

今月 令和6年度 9

しいな 「家族でつくる人権標語」優秀作品から 61 し た 61

頓原小学校5年 あ 家族名 理恵 さん

権 標

月今宵部屋の灯りを消して待つ を 長の灯消せば侘しさ殊更に 栗剥ひて心整ふ夜更け 刈り終へて虫の音い 俳 旬 琴峯華句会 つか変わりゆく 豊子 -月の作品から 青空の柿を写して水たまり ひとりゐて溢れ落ちそうなる秋思 鳶飛ぶや運動会の空丸 山碕智恵美 昭男

●12月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日		
頓原・志々	6日(土) 10日(水)		
赤名	22日(月) 27日(土)		
来島	12日(金) 17日(水)		

「クリーン(株)] 、72-1401(頓原地域) [クリーン(株)] 、76-2441(赤来地域)

> 決められた日時を 必ずお守りください。

雲南夢ネットのデー 夕放送や雲南市・飯 南町事務組合ホーム ページでも確認する ことができます。

雲南市 飯南町事務組合



野	部	部田	瀬	鳩	本	名	藤	名前	7
勝江	朋次	田鶴子	部末子	醇子	広市	明登	節美		7
様 (86)	様 (84) 伸	様 (72)	様 (91)	様 (92) 秀	様 (70) 朋	様 (85) 達	様 (60) 雅	绀	1.
剛	也	孝	強	労俊	惠	也	虚樹	親族	1 月
(上来島)	(野	ÎII	町	(赤	芯 町	(奥	() 赤	地区	
島	萱	西	区	名	区	畑	名	-	5

●12月のこみ収集日			陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類	資源物
収集地区			収集日	収集日	収集日
		町区、敷波(古城·稲荷·田鍬下)	8日(月)	22日(月)	
	頓原	都加賀、奥畑、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田鍬西・田鍬東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・才谷1・才谷2)、志津見、角井	9日(火)	23日(火)	17日(水)
		川東、川西(南)	10日(水)	24日(水)	
	赤	赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	1日(月)	15日(月)	
来	上赤名、下赤名、谷、上来島(上来島·安江·横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下来島	2日(火)	16日(火)	24日(水)	
		上来島(杉戸)、野萱(塚原·三日市·野萱·下三日市)	3日(水)	17日(水)	

[いいしクリーンセンター] 【72-9217



長野県信濃町へ森林セラピー研修に 行ってきました!

飯南町は日本に2ヶ所しかない森林セラピー2つ星基 地ですが、実はもう一つの2つ星基地が、長野県信濃町 にあるんです!

信濃町はバスで片道10時間余り。かなりの長旅です が、今回はセラピーガイド・養成講座生の皆さん、役場、 観光協会合わせて10名で10月3日から2泊3日で研修に 行ってきました。







森林セラピー体験

信濃町の森林セラピーは、前日のガイドとの顔合わせ から始まりました。セラピー中に呼んでほしい『フィールド ネーム』や、どんなセラピーが受けたいかなど、ゆっくりア イスブレイクできました。2日目のセラピーでは、「御鹿池 コース」を歩き、様々な場所で五感を使って森を感じまし た。飯南町では見ることの出来ない「アブラチャン」とい うクロモジ科の植物など新しい発見もあり、楽しさと癒 しを存分に感じることができました。

また一つ新しくなった事務局とガイドでお迎えするの で、森林セラピーにご興味ある方は是非観光協会までお 問い合わせください。

「町民向けセラピー」の受付も実施中です!(杉山)





ご挨拶が遅くなってしまいましたが、今月から大上と2人で記事を書かせて頂くことになりました、飯南町観光協会の杉山です。 今月は杉山が担当させて頂きました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



『「生命地域」を未来へつなぐ しまね・中山間地域セミナー 開催

https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/ ಹಿ-ಡಿಸ-೨೫೭೭ಕರಿ



10月3日(金)に当センターにおいて、『「生命地域」を 未来へつなぐ しまね・中山間地域セミナー』を開催しま した。

当日はあいにくの雨の中でしたが、100名を超える方 にご来場いただきました。

センターは、"中山間地域は命を育むみなもと"である という考えのもと、「生命地域」としての中山間地域の再 生を理念として掲げています。

第1回目である今年は、「食と地域」をテーマとして、 京都大学人文科学研究所教授の藤原辰史先生に、『生 類の思想-「生命地域」を食から考える」という演題で 基調講演いただきました。

先生が考えられる「生命地域」のイメージについてい くつか例をお示しいただきましたが、特に、「生命地域」



を「巨大な食権力から独立した地域」と定義され、穀物メ ジャーによる穀物の集中と投機の変遷・水俣病事件・学 校給食など様々な事例を示されながら、素晴らしい資源 にあふれる中山間地域(生命地域)を自分たちで守り、生 かし、活用していくことが重要とお話いただきました。

続いて、センター地域研究科の有田研究統括監より 「次世代の食を支えるために必要な視点とは」、鳥獣対策 科の澤田科長より「地域の農と食を守る地域ぐるみの鳥 獣対策」という内容で研究成果の報告を行った後、意見 交換も行いました。

今後も新たなテーマで、こうしたセミナーを開催いたし ますので、是非お越し下さい。





Ö [[NAN 2025.11(No.251) **14**